

～DXの本質を理解し、デジタル人財必修スキルを学ぶ～ケーススタディで学ぶDXの実践、ステップ・バイ・ステップ！（4121159）

DXが必要だとは思いますが、どこから手をつけたらいいかわからない。わが社に必要なDXを推進する力を身につけたデジタル人財を育成したい。RPAの導入やDXのPoC(概念実証)に取り組んでいるが、思ったような成果がでない。そのようなお悩みの声にお答えして用意したこのセミナーでは、DXの本質とデジタル人財の必修プラクティスを、ケーススタディ・メソッドで学ぶことができます。

開催日時	2021年6月18日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 専門スキル
講師	宗雅彦 氏 (株式会社サイクス 代表 IT経営ナビゲータ) 『DX経営の冒険』(Facebookページ) https://www.facebook.com/DXkeiei UNIX OSの開発業務から、シリコンバレーでのITベンチャーの動向リサーチ・発掘、投資、事業開発業務までを経験し独立。DX(デジタルトランスフォーメーション)をIT経営の変革と定義し、企業の経営変革と顧客創造の推進支援に取り組む。 国際NPO団体IIBA(カナダ・トロント)にてBABOK(ビジネスアナリシスの知識体系ガイド)バージョン3(英語版)開発リーダー。JISA(情報サービス産業協会)「ビジネスアナリシス部会(2014年委員会)」委員。「ITエンジニアのためのビジネスアナリシス」、「ソフトウェア要求」、「アジャイルソフトウェアマネジメント」、「体系的ソフトウェアテスト入門」など訳書、多数。
参加費	J U A S会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	企業改革を担うリーダー、プロジェクトマネージャクラスの方 初級
開催形式	講義、演習
定員	10名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

会場のみ（オンラインなし） [【Co-lab-po（2 階会議室）施設利用にあたっての取り組み】](#)

■テキスト

当日配布

◆本講座の特徴◆

- 単なる業務効率化に留まらず、価値創造を目的とした経営変革/新規創造にDXを活かすための本質を理解することができます。
- 既存事業体が事業価値の再創造を目的とした経営変革にDXを活かすための2つのアプローチをケーススタディで学ぶことができます。
- DXを活かした経営変革をリードするデジタル人財の必修プラクティスを学ぶことができます。

◆趣旨◆

DXが必要だとは思いますが、どこから手をつけたらいいかわからない。
わが社に必要なDXを推進する力を身につけたデジタル人財を育成したい。
RPAの導入やDXのPoC(概念実証)に取り組んでいるが、思ったような成果がでない。
そのようなお悩みの声にお答えして用意したこのセミナーでは、DXの本質とデジタル人財の必修プラクティスを、ケーススタディ・メソッドで学ぶことができます。

◆内容・スケジュール◆

第1章 DXとは何か？

- ・DXの本質とデジタル人財の要件
- ・DXを経営変革に活かすためのフレームワーク『ゼロツーワン型』と『リニューアル型』
- ・既存事業体にとってのふたつのDXアプローチ
- ・自組織に必要なDXはなにか？

第2章 DXを経営変革に活かすための構想企画

- ・いま、必要とされる経営変革アプローチのイノベーション
- ・なぜ、構想企画はビジョン構想からはじまるのか？
- ・ブレークスルーを生み出すビジネス戦略構想
- ・ITでコミュニケーションを流れ化する
- ・顧客の心を動かすカスタマーエクスペリエンスのつくり方

第3章 業務設計とサービスデザインにつなげる

- ・なぜ業務の見える化は難しいのか
- ・業務の見える化の4つの質問
- ・仕事の滞留を見える化する
- ・業務改善のために業務を再設計する
- ・顧客の心を動かすCXのためのサービスデザイン

第4章 デジタル人財の必修プラクティス（ケーススタディ）

- ・自組織に必要なDXから必修プラクティスを設計する
- ・デジタル人財のためのプラクティス・フレームワーク